

## JMD における年齢調整死亡率のフォーマット

### 概要

JMD (Japanese Mortality Database) では現在、全国と各県の年齢調整死亡率 (ASDR, Age-Standardized Death Rates) を、エクセルファイルと、Human Cause-of-Death Database (HCD) と同様の CSV ファイルで提供しています。

### CSV ファイルのフォーマット

CSV ファイルは死因分類に応じて 5 つのファイルがあります。

ASDR\_JMDCcs.csv – JMD 分類(cause) (詳細分類)

ASDR\_JMDCgr.csv – JMD 分類(group) (概要分類)

ASDR\_HI.csv – 人口動態統計年次推移分類(HI)

ASDR\_CNDcs.csv – 人口動態統計簡単分類

ASDR\_HCDcs.csv – HCD の中間分類(intermediate)

1 行目はヘッダー、2 行目は変数名で以下を表します。

prefecture – P00(全国), P01(北海道), P02(青森県), ..., P47(沖縄県)

sex – Female, Male and Both

list – 分類 (JMDCcs, JMDCgr, HI, CNDcs, and HCDcs)

agef – HCD の年齢フォーマットで開放区間が “95+”であることを示し、JMD では常に 3。なお、日本の年齢調整死亡率では、0 歳が 0～4 歳に含まれている。

cause – 死因番号

year – 年次

ASDR – 年齢調整死亡率 (10 万対)

JMD 分類, 年次推移分類 (HI), 簡単分類 (CND) はエクセルファイルで提供されています。HCD の中間分類 (intermediate) については、HCD のホームページ (<https://www.causesofdeath.org/>) を参照して下さい。